

日本共産党稲沢市議団 大阪・関西万博への修学旅行で申し入れ

7月3日、日本共産党稲沢市議団は、稲沢市長と教育長あてに、大阪・関西万博（来年4月13日～10月13日まで184日間の開催予定）への修学旅行等について、子どもたちの安全確保のための申し入れを行いました。

愛知県は4月16日付で、文科省からの通知と同様の「修学旅行等における大阪・関西万博の活用について」とする依頼文書を出し、市町村教育委員会への周知を求めました。

これに先立って政府は「修学



旅行と校外学習をあわせて120万人の子供たちに大阪・関西万博に来てもらう」目標を表明し、文科省と都道府県教育委員会を通じて執拗に学校への働きかけを強めています。

爆発事故うけて

子どもの安全懸念

しかし保護者からは、修学旅行や校外学習で子どもたちを万博に動員することへの懸念の声が出されています。なぜなら、会場となる夢洲の建設現場で、爆発事故が発生したからです。

夢洲では、現在でも可燃性ガスが発生しており、危険は解消されていません。しかも、ここは観光バス駐車場や教育関係者の団体休息所予定地です。さらにバス駐車場から会場入り口まで1キロ近い徒歩移動を強いられます。屋根付き団体休憩所（2千人規模）は、ピーク時の

申し入れ内容

- ① 大阪・関西万博を修学旅行等先とすることについて、市教委自ら問題点を検証したうえで、慎重な対応をとるよう努めること。
- ② 同万博を修学旅行等先として検討している学校には、子どもたちの安全確保最優先の観点から再検討し、旅行先の変更など行うよう指導すること。
- ③ 同万博の中止を国に求めること。

「いのち輝く」から

いのちの危険に

混乱が想定され、昼食場所の確保や熱中症対策、雨天時の対応が難しいとされています。

道路や公共交通機関についても混雑が予想され、地震など災害時の避難経路も不明確など、子どもたちの安全にかかわる数々の問題点が指摘されています。

このままでは、「いのち輝く」をテーマに掲げる万博が、子どもたちに「いのちの危険」を生じさせる事態になりかねません。

市の教育委員会事務局では、「中学校は例年関東方面であり、小学校についても、来年度、万博への修学旅行を計画している学校は、今のところ聞いていない」としています。仮に万博を旅行先とする学校があれば、撤回を求めていきます。

日本共産党の宮本岳志議員は、衆院文部科学委員会、来春開幕予定の大阪・関西万博に、校外活動として子どもを動員する通知を撤回するよう迫りました。

万博会場予定地の夢洲1区では3月28日、メタンガスによる爆発事故が発生。それにもかかわらず文科省は、

内閣官房と経済産業省から依頼を受け、「修学旅行等

子どもの動員、撤回迫る 万博で、共産党宮本議員

が会期中の安全確保の対策をとり

における2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の活用について」という通知を發出しています。



文科省の矢野和彦初等中等教育局長は「発出前から文科省

「事故の事実を知らずに通知を出したのか」と宮本氏がただしたのに対し、文科省の矢野和彦初等中等教育局長は「発出前から文科省は健康・安全の管理について細心の注意を払うなど、児童生徒の安全確保は何より大切だと認識している。あらかじめ、実地踏査を行い、現地の状況や安全の確認、地理的環境や所要時間などを把握するとしている。」

愛知県も、修学旅行先に大阪・関西万博を検討するよう求める文書を出しています。この問題について、日本共産党の下奥奈歩県議が取り上げ、5月30日、大村秀章県知事と県教育委員長あてに要望書を提出しました。また、6月県議会の教育・スポーツ委員会では質問しました（抜粋し要旨のみ）。

【下奥委員】修学旅行などの集団宿泊行事や遠足を行う際には、子どもたちの安全確保が大変重要であると思うが、県教育委員会の認識を伺います。

【義務教育課】修学旅行などの集団宿泊行事や遠足を行う際には、健康・安全の管理について細心の注意を払うなど、児童生徒の安全確保は何より大切だと認識している。あらかじめ、実地踏査を行い、現地の状況や安全の確認、地理的環境や所要時間などを把握するとしている。

【下奥委員】大阪・関西万博では、下見ができない。安全性にも不安がある。爆発事故の再発防止策も示されない中で、旅行先の変更や万博を選択しないことなど検討を、各教育委員会を通じ学校に求めたい。

